

グラフで見るインド経済 2022年7月号(No. 151)

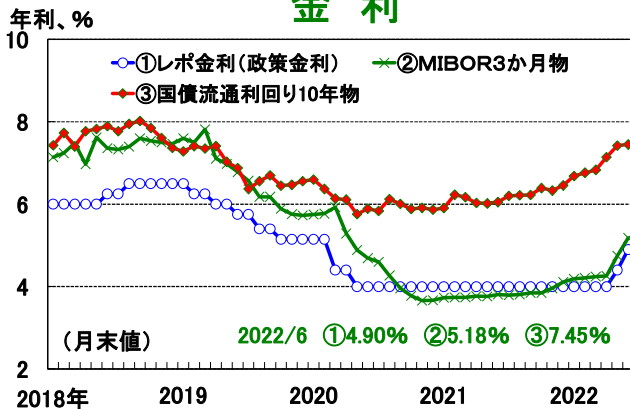
インド景気は概ね横ばいの動きとなっている。家計部門をみると、5月の新車販売台数は前年比+185.1%と高い伸びを記録した。ただこれは比較の対象となる前年同月の新車販売台数がコロナ禍によって大きく落ち込んでいたためである。一方、企業部門に関しては、5月の輸出が減速したものの、同月のコア産業生産指数は底堅く推移した。また6月の製造業PMIは53.9と中立水準の50を上回った。なお、足元ではマネーサプライの伸びが低下している。インド中銀がインフレ圧力を抑えるために2か月連続で利上げを実施したことがこの背景にある。

【足元の景気判断】

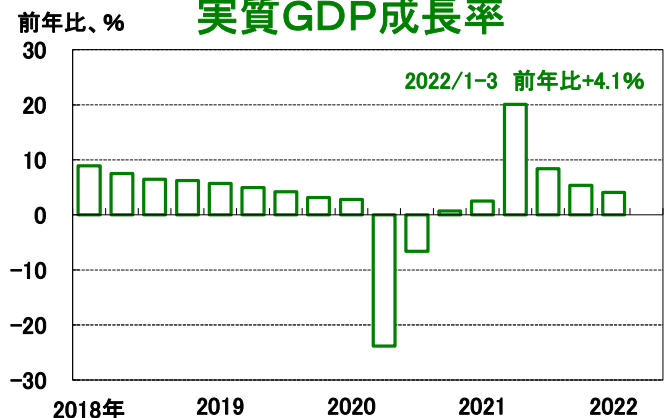
指標	景気全般	輸出	新車販売	コア産業生産	製造業PMI
判断結果	→	→	→	↑	→

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

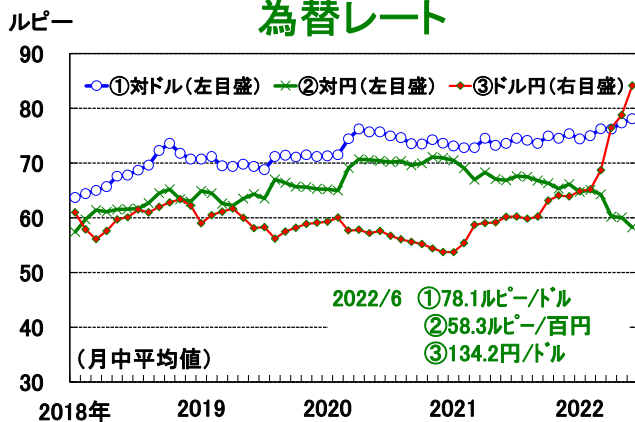
金利



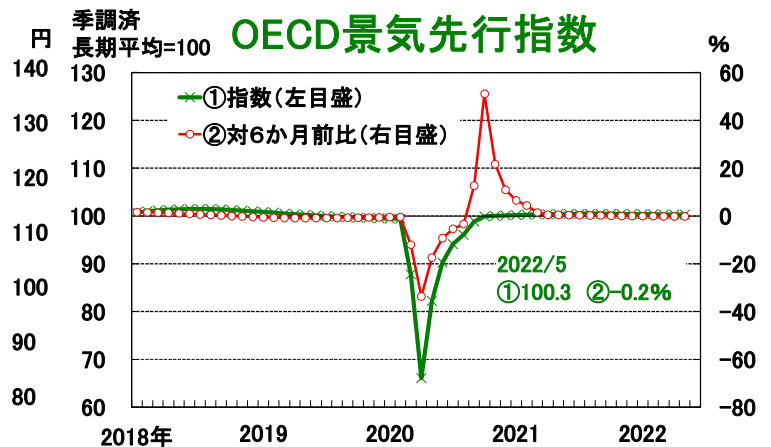
実質GDP成長率



為替レート



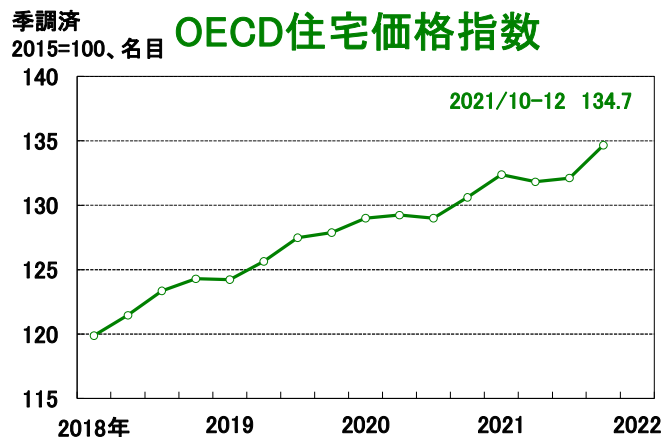
OECD景気先行指数



ムンバイ指数(株価)

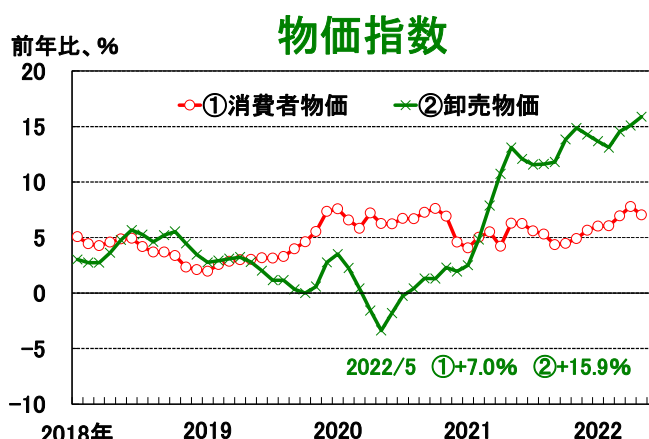
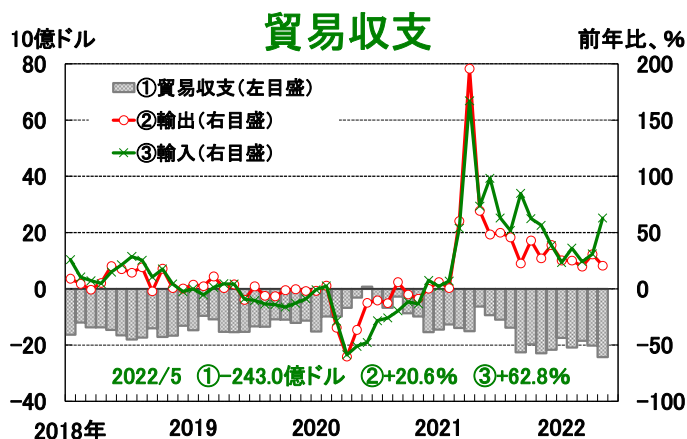
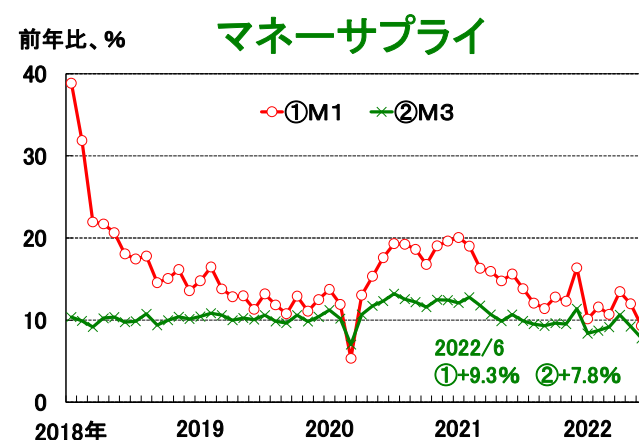
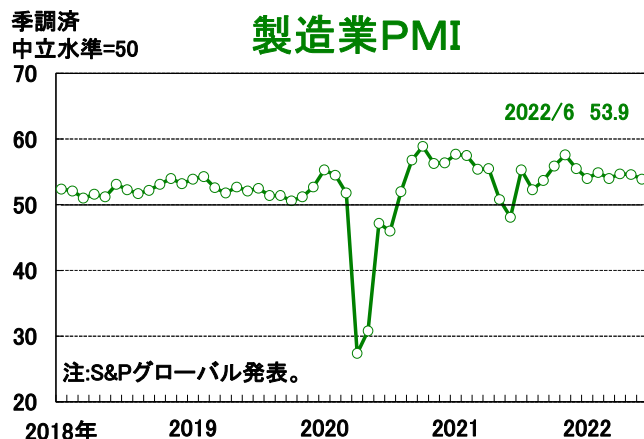
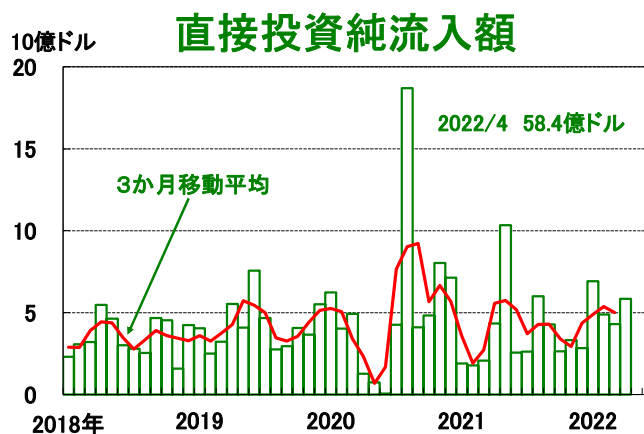
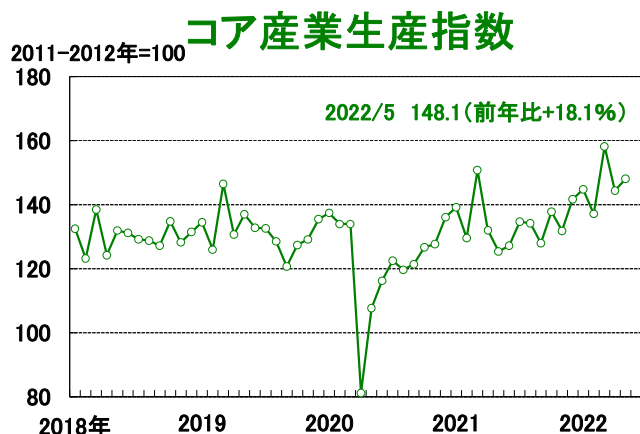
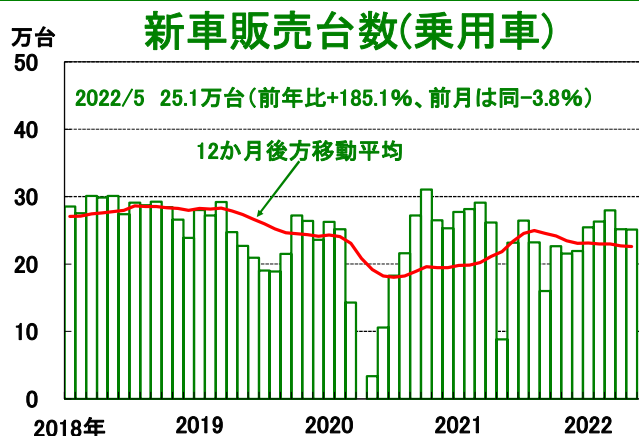
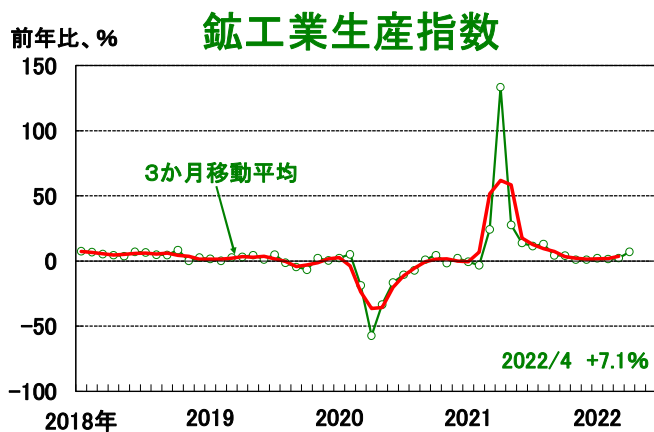


OECD住宅価格指数



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。